

令和元年度 第1回図書館協議会会議録

日時：令和元年9月27日（金）

14:00～15:30

場所：海津生涯学習センター

1階1、2学習室

- ・出席者：海津市図書館協議会委員9名
古橋徳昭、片岡恭子、多田尚子、伴浩美、中島由紀子、藤田佐喜子、
塚本明日香、山田洋司、山崎見歩、
- ・事務局：教育長、伊藤事務局長、大倉館長、石原、
企画財政課 中島補佐(10/1より海津図書館課長補佐)
- ・欠席者：なし

1. 開会あいさつ

- ・中野教育長が挨拶を述べ、開会した。

2. 委嘱について

- ・中野教育長より各委員に委嘱状（委嘱機関2年）交付後、各委員及び事務局より自己紹介。

3. 議題

(1) 会長副会長の選出について

- ・事務局案として、会長に古橋徳昭氏、副会長に藤田佐喜子氏を提案し、委員全員の承認を得、事務局提案のとおり決定した。
- ・以後会長により議事進行を進める。

(2) 図書館協議会について

- ・事務局より、協議会について説明した後、会長より各委員に質疑を伺うが特になし。

(3) 市内図書館の概要及び実績

- ・事務局が資料に基づき説明し、会長より各委員に質疑を伺う。
- ・資料P3 海津市図書館の組織内容が現状と相違があるのではないかと指摘あり。
→資料に誤りがあり、現状は海津図書館係長1名。新たに10/1より課長補佐（歴史民俗資料館兼務）を配置し2名になる予定で、海津図書館日日雇用職員8名。平田図書館日日雇用職員7名です。
- ・教育長より、海津市図書館の状況を把握していただくために、次回に海津市図書館3館を巡って頂くよう計画したい旨説明した。また、千代保稲荷神社より毎年多額の寄付をいただき小中学校の蔵書の整備を図ってきたことから、1人当たりの蔵書数は県内で1位であり、司書も全ての小中学校に配置していただいていることから読書教育環境は整っ

ていると考えている旨説明。

- ・千代保稲荷神社以外からも、図書購入に対する寄付はあるか。
→個人から匿名希望で 500 万円の寄付があり、毎年 100 万円購入費に
充てさせていただいている。
- ・職員の年齢層を教えてください。
→海津は 50 代が多く、2 人 40 代の人があります。平田は 30～60 歳まで
になります。南濃はお 1 人で 50 代になります。
- ・図書館資料購入の図書費の金額には、寄付金額も入っているのか。
→入っている。
- ・資料 P 19 平田図書館の地区別登録者数・利用者数が少ないのは何か理
由があるのか。
→平田町の人が平田図書館のみへ行かれるわけではないが、団体の人
も借りてみえる。詳細な理由は資料では確認できない。
- ・団体登録はしていないか。
→団体登録はカードを使って行っている。
- ・団体登録の数を教えてください。
→県図書館の公共図書館の調査では、29 年度の団体貸し出しは海津
1,854、平田が 4,177、南濃 358 になっている。30 年度については
1 月に公表される予定です。
- ・8/27(火)に C B C テレビの「教えてもらう前と後」という番組で、海津
市図書館の紹介があり、読書通帳についても説明されていて見ていた
が、放送される予定のお知らせはあったのか。
→7 月下旬にテレビ局から取材についての問い合わせがあり、8 月 4 日
に取材をされ、27 日に放送する旨の説明があった。
- ・放送の予定は紹介されたのか。
→取材から放送までの期間が短くまた、事故等の影響で放送日の変更が
されることも考えられるので、市報での掲載が無理であったため、職
員に対しパソコンのインフォメーションにて行い、取材については図
書館に取材日の 1 週間前くらいに、貼り紙をして周知した。今後は図
書館において放送日も含めて周知していくようにする。

(4) 海津市図書館の課題について

- ・事務局より現在の海津市図書館の課題として、3 館運営の再編につい
てと現代詩碑文学館の運営、3 館の開閉時間の統一について検討してい
きたい旨の説明と、読書推進のため、読書の町宣言していきたい旨の説
明をした。
- ・会長より各委員に質疑を問う。

- ・3つの課題の中の、読書の町を宣言については、課題を見つけながら進めていくということか。
→最終目標として、読書の町宣言をしていくために、皆様のご意見を伺っていききたい。
- ・課題について2年間でゴールをめざしていくのか。
→できればそうしたいが、内容によっては3～4年かかることもあるのではないかと考える。
- ・隣に総合福祉会館（やすらぎ）があるが、休みはあるのか。
→土・日・祝祭日、年末年始が休み。
（月曜日にやすらぎには来て見える方があっても図書館は休みになる。）
- ・市内に児童館はあるか。
→児童館はない。
- ・子育て支援センターはあるか。
→ある。こども園へ行く前の子どもたちが対象。
- ・子育て支援センターは、保育園に併設されていると思うが、子育て中のお母さんは、どこへ行かれるのか。
→市内にこども園が10園あり、そのうち市が1園運営している。お母さん達は、自分の都合にあわせて、子育て支援センターへ行かれる。
- ・市議会議員より質問があったことから課題に取り組むことになったのか。
→図書館の在り方については検討していたが、市民の方々の意見を議員が代弁されていることもあることから、改めて協議会を立ち上げ意見を伺いながら検討することとした。
- ・人口減少が原因で予算が減ってきているために課題が生じていると思うので、人口減少対策に努める必要があるのでは。
→子育てがしやすいまちづくりとか転入支援等人口減少対策はそれぞれの担当部署で行っている。この協議会においては読書活動を高めるための協議をお願いして行きたい。
- ・3つの課題の中で開館時間の統一が一番取組やすい課題であると思うが、再編と併せて協議していく必要もあると考えるが、何か要望があつて協議することとなったのか。
→要望があつたわけではないが、効率の良い運営をするには利用者の要望される時間と、職員の健康管理維持のため働き改革を進める必要があることから、それにあわせて、皆さんの意見をお伺いしながら検討し、市民サービス提供に努めていきたいと考えている。
- ・利用者は開館時間を長くしてもらうことを要望されると思うが、協議するにあたって、時間帯の利用者のデーターを示してもらいたい。

→データー資料を用意する。

- ・ビジネス支援とするなら、仕事が終わった人が利用しやすい時間になり、子育て支援とし、子どもと一緒にということだと昼間に職員を手厚く配置する工夫がある。3館に特色を持たせるなら開館時間を統一しなくとも良いのではないか。開館時間は再編と併せて協議していく必要があると思う。
- ・海津の交通事情では、親が送り迎えをする必要があるが、長時間利用する場合夏場など飲食できる場があればいいと思う。また、19時まで開館していると、放課後利用ができ、勤めている親も利用しやすいのでは。

4. その他

- ・次回の協議会は11月中旬を予定しているが、3館を見ていただくためにバスの用意をする。皆様の予定を聞き、調整し13時からの開催とさせていただきたい。なお都合により日程を変更する場合もあることをご了承願いたい。
- ・現在、平田図書館を含めた旧平田庁舎跡地周辺の施設について、民間利用可能性調査を進めており、その結果も含めて協議をお願いしていきたい。図書館再編の検討は急がなければならないことも知っておいてほしい。
- ・報酬の振込依頼書を提出していただくようお願いし、協議会を閉会した。

(閉会 15:30)